CAN2026 アニュアルシンポジウム

一般社団法人 応用脳科学コンソーシアム
Consortium for Applied Neuroscience

エージェント AI/ フィジカル AI 時代に問い直す脳科学の役割

～社会脳と身体性から考える人間中心 AI の未来～

参加登録（無料）はこちらから

詳細はこちらから

生成 AI の普及により、AI は文章や画像を生成する道具から、業務を代行し、人と対話し、現実世界で行動する AI エージェント／フィジカル AI へ進化しつつある。一方で、人間の知性や幸福は、単なる情報処理ではなく、身体、情動、他者との関係、社会的信頼、経験の中で形成される。本シンポジウムでは、脳科学・認知科学・ロボテ ィクス・産業政策を横断し、AI と人間の違いを見直すことで、日本発の人間中心 AI の方向性を提示する。

※開催時間、アジェンダは変更となる可能性があります。途中休憩を挟みます）

＜開催日＞2026 年 11 月 9 日（月） 13:00 ～ 17:00 ※終了後、懇親会 (希望者のみ、参加費 4 千円) を開催

＜場　所＞JA 共済ビル カンファレンスホール（千代田区平河町）＋オンライン

＜アジェンダ＞

来賓挨拶：内閣府　福永 哲郎氏（科学技術・イノベーション推進事務局 統括官 人工知能政策推進室 室長）
文部科学省　中田 栄介氏（研究振興局 ライフサイエンス課 課長）
経済産業省　松本 理恵氏（イノベーション・環境局 イノベーション政策課 フロンティア推進室 室長）
総務省　大野 誠司氏（国際戦略局 技術政策課 研究推進室 室長）

基調講演 1：「AI エージェントに社会脳はあるか」
春野 雅彦先生（情報通信研究機構 未来 ICT 研究所 脳情報通信融合研究センター 脳情報工学研究室 室長）

基調講演 2：「身体を持てば AI は人間に近づくのか」
長井 志江先生（東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構 特任教授）

話題提供 1：CAN 取組の紹介

話題提供 2：「Physical AI の社会実装から考察する人とロボットの関係性」
安藤 健氏 (パナソニック R&D センターシンガポール マネージング・ダイレクター（社長）)

話題提供 3：「材料開発のラストワンマイル　人を理解する評価から AI・ラボオートメーションへ」
入江 満氏（MI-6 株式会社 代表取締役 CEO）

パネル討論：「AI が自律性と身体を持つ時代に、日本は人間中心の AI 産業をどう創るか」

CAN2026 アニュアルシンポジウム
エージェント AI/ フィジカル AI 時代に問い直す
脳科学の役割 ～社会脳と身体性から考える人間中心 AI の未来～

基調講演 1
「AI エージェントに社会脳はあるか」

春野 雅彦先生

情報通信研究機構 未来 ICT 研究所
脳情報通信融合研究センター 脳情報工学研究室 室長
大阪大学大学院生命機能研究科 連携講座 招へい教授

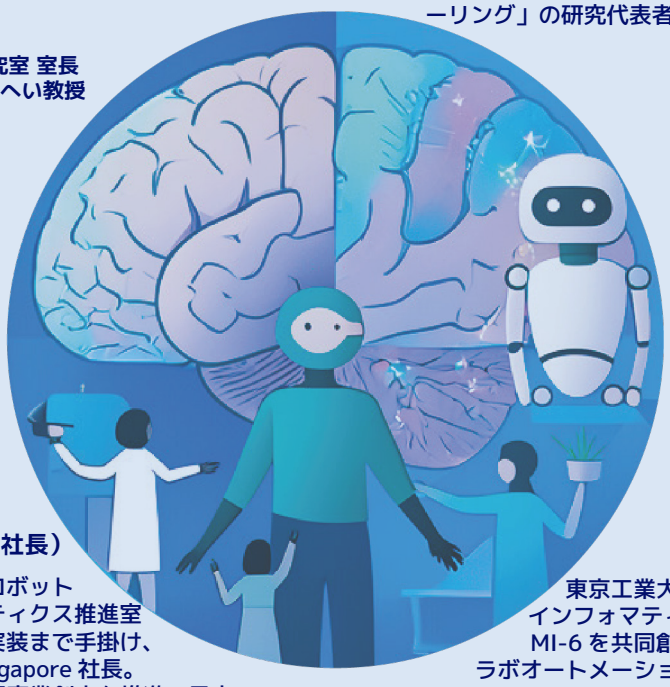
2011 年度より NICT CiNet で研究に従事。現在 CiNet 春野グループで人間の社会的行動と、それを支える基盤となる神経計算を特徴づけることを目指し、皮質と皮質下の脳のネットワークの相互作用を特定することに焦点を当てた研究や社会的な意思決定における無意識の処理の役割を調べる一連の研究を進める。これら結果に基づき、社会的な計算の基礎となるアルゴリズム的な原理を探りながら、高解像度 fMRI、電気生理実験、遺伝子解析を統合的に行い、脳ネットワークの動的活動パターンから社会行動の定量的な分析予測に取り組む。

基調講演 2
「身体を持てば AI は人間に近づくのか」

長井 志江先生

東京大学 国際高等研究所
ニューロインテリジェンス国際研究機構
特任教授

2004 年大阪大学、博士（工学）取得。NICT 専攻研究員、ビーレフェルト大学ポスドク研究員、大阪大学特任准教授、NICT 主任研究員を経て、2019 年に東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構特任教授に着任。認知発達ロボティクス研究室を主宰。計算論的アプローチから人間の社会的認知機能の発達原理を探る、認知発達ロボティクス研究に従事。「AI× 発達障害当事者研究」の第一人者として、2024 年に Forbes JAPAN “Women In Tech 30” を受賞。2016 年より JST CREST「認知ミラーリング」の研究代表者、2021 年より CREST「認知フィーリング」の研究代表者を務める。



話題提供
「Physical AI の社会実装から考察する人とロボットの関係性」

安藤 健氏

パナソニック
R&D センター
シンガポール
マネージング・
ダイレクター（社長）

早稲田大学理工学部・大阪大学医学部でロボット研究に従事後、パナソニック入社。ロボティクス推進室室長として研究開発から事業開発、社会実装まで手掛け、2025 年より Panasonic R&D Center Singapore 社長。AI・ロボティクスを軸に産官学連携と新規事業創出を推進。日本ロボット学会理事、大阪工業大学客員教授。著書に「融けるロボット」「ロボットビジネス」。

話題提供
「材料開発のラストワンマイル 人を理解する評価から AI・ラボオートメーションへ」

入江 満氏

MI-6 株式会社
代表取締役
CEO

東京工業大学大学院（現・東京科学大学）にてバイオインフォマティクスを専攻。三菱総合研究所、ofo を経て MI-6 を共同創業。マテリアルズ・インフォマティクスとラボオートメーションを「材料・化学産業における研究開発のあり方を変革するための実践的な基盤」と捉え、社会実装に取り組む。研究開発者や R&D 組織が生み出す知を資産化とし、新たな発見と製品開発が持続的に興る世界の実現を目指している。

参加登録はこちらから：https://ourl.jp/C4gjh

【後援】内閣府、総務省、文部科学省、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構、一般財団法人関西情報センター
一般社団法人 計算論的精神医学コロキウム、一般社団法人 社会的健康戦略研究所
公益財団法人 日本健康・栄養食品協会、一般社団法人 日本神経回路学会、一般社団法人 日本神経科学学会
日本脳科学関連学会連合、日本ヒト脳マッピング学会、WELL-BEING TECHNOLOGY 展示会事務局
（予定）一般社団法人 人工知能学会

【ゴールド協賛】株式会社 SandBox

【協賛】株式会社イデアラボ、株式会社 NTT データ経営研究所
株式会社竹中工務店、株式会社日本能率協会マネジメントセンター
株式会社レゾナック

＜応用脳科学資格検定制度のご案内＞

後援：文部科学省、一般社団法人日本神経回路学会、一般社団法人日本神経科学学会、日本脳科学関連学会連合

試験日時：11 月 25 日（水）～ 27 日（金）各日 17 時 ~18 時（いずれか 1 日のみ受験可能）　受験申込受付：～ 11 月 20 日（金）

公式問題集（Kindle 版）はこちらから⇒https://www.amazon.co.jp/dp/B0HKWYNTT8

詳細・お申込みはこちらから：https://www.can-neuro.org/certification/　お問い合わせ：CAN 事務局　can@can-neuro.org

検定制度について　公式問題集